

地域のもりから学ぶ森林づくり 平成23年度 第6回 森林教室

10月28日（金）前回（9月27日）の森林教室で採取した「エゾマツ・アカエゾマツ」のマツカサから「たね」を取り、簡単な方法で発芽試験を行いました。指導は前回の森林教室に引き続き林木育種センターの植田遺伝資源利用課長と小園係長の指導のもと行いました。

マツカサからどのようにして「たね」を取り出すのでしょうか。取り出した「たね」の重さや数も量ります。すべてが初めての体験となりました。

残った「たね」は来年に種蒔きをして苗木に育てることを目的にしています。その、育てた苗木は定山溪のもりに帰していきます。長いチャレンジの第一歩となる一日でした。

なお、今回は特別授業として当センター所長より「木材の利用」についても説明する時間も持ちました。



講師から説明です



木材利用の説明も



マツカサを擦ると……たねもみが これを布袋に入れ擦り
ゴミを吹き飛ばすとたねがです。



取り出した種の重さと



数を数えて



寒天培地に50粒

約2週間で発芽します。発芽率は何%となるのでしょうか